
恋愛...条件

NNA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛…条件

【著者名】

ZZード

2013年

【あらすじ】

恋することができない…でも、蓮に出会い考えが変わったとじるがれきと蓮の間に…

好きになるのに理由なんてあるのかなあ?

：カツコイイから好きになるの？

好きだからかつこよく見えるの？

何がなんだか…さっぱりわからない。

うちは今まで沢山恋をして來た。

初恋の時…小2で勇気が出せなくて片思いのまま終わってしまった。
もうそんな恋はしたくなくて…好きになるのをやめた。

だから、恋愛は自分からはしてない。カツコイイとか好きなのかな
とか思うことはあつたけど、大体は相手のほうから告白して來たら
キモい奴以外は大体はOKしてきた。

けど…好きになることが出来なくて。

でも…たつた一度だけ信じて好きになつた人がいた。
でも浮氣されて終わつた。

わかんな…。

自分から告白してきといて飽きたら捨てるつて…。

そんなんするなら告白しないでよ。

出来ないなら簡単に『ずっと一緒にいる』とか軽い口約束しないで
よ…。

も「うちは恋をする」とは出来ない。
そう思つていた。

『 セセ… また告られたの？』

いつも聞いてくるのは「うちのとも達の彩だ。

『 「う。 タイプじゃなかつたからフツたけどね笑つ』

毎回この話から始まる「うちの会話。

それに毎回同じ答えをいつ。

飽きたこの話…

「うちの名前は

山本わき

見た目は「く普通の中学生。

でも、人を好きになることが出来ない女だ。

『 山本さん、あの人呼んでるよ』

一人の女がうちを呼んでくる…。

またかあ…。

『 何ですか？』

『 僕と付き合つてよ』

こいつは転校して来た隣のクラスの 桜井蓮
顔はイケメンらしくて、性格も良いみたいだけど…「うちは興味ない！」
初めて会ったときも告られたがフツた。

何度もだろう…

『 何回言つたらわかるんですか！「うちはあなたとなんか付き合つま

せんーじゅあ『

…あの人しつこい

何度もいつてもわからない人だなあ…

『さき…あの人何回目笑つ』

『笑い事じやないよ…あの人しつこくも…』

何なのあの人なんであんなに付きまとつてくるの?

迷惑だし。

『さき帰るうー・プリ撮り行いつよー・』

『良じよおー』

『さき、彩ばいばあい』

『ばいばあい』

部活ある子は大変だなあ。

『さき。』

『ん?』

彩なんか変だよ?

何かいるの?

周りを見渡すと…

そこにはうちの元カレ拓也と…蓮? 拓也は中1のときの彼氏浮気されて別れたけど…けどなんで蓮と?…どうして?

『蓮お前さきとは付き合えるのか? 笑つ

あこひなんか調子のつてきてんが』

『…』

『お前あいつと一ヶ円付きたかの賭け忘れんなよ? 笑つ』

…つ何あいつ!

あつたまきた(怒)

『ざひけんなつ!』

『さき(汗)』

『は?』

は?..じゃないし!

『遊びで付き合つてたわけ?』

『だつたらなんなんだよ! 別にいいじゃん! おまえはそれで満足だつたら? 笑つ』

『最低つづ一開き直んな!だから、浮気性が直らないんだよー馬鹿』

『…じいつ』

むかつぐ!

『拓也もさきに謝りなよ。』

彩…

『彩良いよ…』

『でも…』

『もうこじんな奴とはとっくに別れてるからー
縁も切れてるし…』

そんな事より…蓮見損なった。うちあなたと付き合わなくてよかつ

た じやあね!..』

『ちがつ...』

『彩行こう!..』

『...つん』

うちの性で彩を泣かせたんだ
ごめんね..

数日後

あ～もう!

あの事があつてからホンとストレス溜まってる!

『山本隣のクラスの蓮が呼んでるぞ?..』

…來た…

もう顔見たくないなかつたのに…

『さき私行こうか?..』

『大丈夫!…ちょっと行つてくる。』

・・・・なんなんだよお

『何?..』

早くしてよーーー!

『…昨日ばいめん』

『何がごめんなわけ?..』

あんた自分がした事わかつてんの?..』

『わかる。ホンとにじめん』

はあ…どうすれば良いかわかんないよ…

『…良いよ。でも、理由教えて…』

『…ありがとう。拓也は小学校からの友達なんだ…で…中1の時拓也とさきが一緒に歩いてたとこ見て、さきに一目惚れした。俺がこっちに転校することが決まって、拓也に知らせに言つたんだ。その時お前らが別れたって聞いて、俺拓也に

「俺コクつていい?」って聞いたらいつ 「やめとけって」言つて来て…そこで賭けをあつちが賭けてきたわけ。信じてくれるかなあ?』

事実なんだ…蓮は嘘ツイでない…

『信じるよーねえ…今日拓也と会つ約束してる?』

『?してるとけど』

『うちも連れてって!..』

『えつ…でも』

『お願い!..』

『…わかつた。』

『…ありがとおー!..』

『…あいつにことん文句言つてやる!..』

待つてろオー! 放課後

キンーコンカーンコン

よじつ!

『さき。』

『今行く待つてー。』

『さき…ホントに行くの?』

『うん…彩うちもう決着つけてくるよー。』

『そつかあ…わかった。いつてうつしゃいー!』

彩…

『いってきまーすー。』

彩…彩はいつも自分の事を一番に考えてくれるね。
ありがとう…うち甘えてばっかりだね…
ごめんね

『わわー・わわー。』

はつー

『じめん…』

『大丈夫?』

『うん』

自分の世界に入りすぎた…危ない

『拓也ー。』

！…！

『おうー。』

空氣悪！

『話つり話^話てなんだよ！』

腹立つ言い方…

『他にいつ事ないわけ？』

謝れつつの！（怒）

たく！

『…『めん』

以外！

こいつが謝った！

…って驚いてる場合じやない！

『あなたにうちの気持ちわかる？

どれだけうちが傷ついたと思つてんの？ そっちから告白しどいて、

二股かけて！

それで別れた後嫌がらせ…いい加減にしてよ…』

やばい…泣く…

『さき…拓也俺絶対さきを彼女にする…』

なつ…！…！

『お前と違つて俺はさきを傷つけない！』

『…勝手にしろ。俺は帰るから』

：

『蓮……つちひ蓮が好きー。』

『俺もーこれでやつと画思いだー！

れあー』

『ん……』

ちゅつ

蓮との初めてのキス…

今から新しい恋が始まる。

『いつできまあす』

バタン

『ねねよーねー。』

蓮だあ～！

『おせよー。』

『… わあっ。』

『彩おはよー。』

『じやあ俺先行つてるねー。』

ああ～…行つちゅつた…

『れあー…れあ金髪つことなつたんだあー。』

かあ

『顔真っ赤だよ? 笑つ』

『つるさあい!』

恥ずかしい!

授業めんど...

蓮に会いたいな...

無理だけど。

寝よーー!

キンーコンカーン

『ふあー…疲れたあ~』

『さきずつと寝てたじやん! 笑つ』

『まあね! 笑つ』

もう授業は終わったし、帰つたら寝よ。

『さきいー!一緒に帰るつぜー!』

蓮だ!

帰りたい!でも…彩いるからなあ

『蓮君と帰りな!私は大丈夫だからあ

『ありがとお!』

『彩ちゃんごめんねえ』

『良いけど、さきを傷つけたらただじや置かないよ? 笑つ』

『わかりましたー!笑ひ』

彩…ありがとお。

『ねえ、明日クロスマスイーフじやん?一緒に過[.]れねえ?』

『過[.]りすー過[.]りすー』

『じゅあ…、俺ひ泊来る?』

…えつ…

『無理こと言わなーから』

『…行く。行くよー』

『じゅあ、明日迎え来るなー。じゅあなー』

『うんー..ばこあこー..』

良いんだよね?

『ただいまあ

『おかえり』

お母さんにはわべないやー

『お母さん里口から2口聞泊行つてこー?』『あー。行っておな

『あつがどね』

お母さんあつがどね…

イフ

『行つておまかうー』

『それ…おまよ』

私服やつぱかっこいー！

『おはよお』

『俺チ親2日間居ないんだ…いい?』

…！…！

いないつて事は…2人きり…！…！

『良こよお』

『それ…』

『蓮…』

ひらひはーつになつた。

心も体も…

蓮大好きだよ…

クリスマス

『ん…もう朝があ…』

そうだうちは昨日…

なに一人でテレ照るんだろ…！

『蓮？』

ピンポーン…

蓮かなあ?

『はあーー..』

..

『警察ですけど…日本をやさすですね?』

『そりですけど…』

『あなたの彼氏さん桜井蓮ちゃんは…交通事故で亡くなつました…』

つー

『お巡つたる冗談をつこやすよ』

『…』

『ホントに蓮が…』

『残念ながら…』

「うわ…うわ

『蓮…ウワーン』

蓮…嘘でしょ。

びひって蓮が…

許さない!

『蓮を殺したやつは誰なんですかー!うちでいつ殺すー!』

『逮捕されました…蓮さんは道路に飛び出した男の子を助けて…』

『たとへたとへ』

『ラジオ』

病院よ。あなた

『云々』卷之二

卷之三

ホントに蓮はいなくなつちやつたんだね……
うちはあなたいなきやダメなのに……

『たま...』

彩・きてたんだ

『大英史』

彩目が赤いよ

九

『それ…お母さん達先帰るわね』

『やめやめん?』

四
二

『蓮の母です。』

7

蓮のお母さんがあつむになんの用かなあ

『これ渡したくて……』

『何ですか？』『これ』

『私にも中身はわからないの……』

何となくわざわざやんに渡さなきやと黙つて

『ありがとうございます。』

そうだ……わざわざ貰つた箱の中身見てみよ……

[写真]…2人で撮つたやつだ…クリスマスプレゼント…
うちにつくれるはずだつたやつだ…

ん？
手紙

「わざわ

この手紙をわざわざ読んでるって事は俺はもう居ないんだな……

ずっと黙つてたけど…俺癌なんだ…

情けないよな。

20歳まで生きられないって…

俺は何歳だったんだろうな…

俺…さきに会えてよかつた！
好きだよ…今でも大好きだよ…

俺は空からりやれをこつも見せつけてるからな…

たぐわん恋しゆよへ

おまえの横にこむのが俺じゃなくて海じこナビ…

しょりがなによな…

幸せになれよ…

じゅあな

蓮

蓮…

何で黙つてたのを…

知つてたらもつと…

蓮…うち幸せになるね

20年後

蓮…うちは沢山恋してるよ…

あなたが居れば幸せで堪らないくら…

うちはあなたの分まで幸せななるよ…

蓮
⋮

E
N
D

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9013f/>

恋愛…条件

2010年11月23日04時34分発行